

(第1紙) T13p353a18~

- 1 大集經月藏分第十二忍辱品第十六 卷八
- 2 □有一阿脩羅王名曰火_レ味在彼會中從
- 3 「」舉手而指羅睺羅阿脩羅王向四百億
- 4 □脩羅王作如是言此羅睺羅阿脩羅王
- 5 是我等輩尊重師長能以福慧益諸衆生自
- 6 在勇猛諸阿脩羅中最勝第一羅睺羅王及
- 7 與我等皆為瞿曇之所欺_レ陵_レ為令佛法得熾
- 8 然故付囑餘衆而不見與故令我等受大恥
- 9 辱次復有一阿脩羅王名鎮星毗摩作如是
- 10 言我等昔來各各於已四天下中與釋提桓
- 11 因共相齊_レ等今如野干逐師子後我等寧可
- 12 捨此凡下還於本國城邑宮殿又我寧死何
- 13 能忍受如是_レ陵_レ辱此是大_レ惡_レ令我等輩生大
- 14 憂苦時羅睺羅阿脩羅王作如是言衆生寧
- 15 可最勝人邊受其罵辱不於凡下而得讚歎
- 16 何以故令多好人所輕賤故此天人師於三
- 17 界中最勝自在住於彼岸善知時宜隨其所
- 18 應故如是也
- 19 尔時月藏菩薩摩訶薩合掌向佛一心敬礼
- 20 而作是言導師當觀此羅睺羅阿脩羅王具
- 21 有如是堅慧勝慧安住堅信樂善樂忍持戒
- 22 清淨深信三寶不久速成无上導師唯願世

(第1紙) T13p353b12~

- 1 尊熾然法故應當與此羅睺羅分尔時世尊
- 2 告四百億阿脩羅王而説偈言
- 3 汝先具諸德 各已住淨信 如是昔諸佛 囑法與汝等
- 4 我今以此法 悉亦付囑汝 當以諸方便 護持我法眼
- 5 汝等作是福 增滿大智海 各於自境界 守護我正法
- 6 住法常樂忍 護持定根者 汝等若如是 成_レ供三世佛

1
 2 「火」の右に「光」の字あり。火∥光【大】
 3 「陵」の右に「凌」と朱書きあり。陵∥教【大】
 4 「齊」の右に「齊」の字あり。
 5 「陵」の右に「凌」と朱書きあり。陵∥教【大】
 6 惡∥怨【大】
 7 成∥成【大】

- 7 常詣於善趣 命智果具足 於世流轉時 得離諸惡道
- 8 諸求勝報者 當熾我法眼 各於己國土 遮_レ鄣_レ惡衆生
- 9 尔時諸阿脩羅悉起合掌咸作是言
- 10 我等阿脩羅 各各於己國 休息一切惡 熾然世尊法
- 11 習行法施者 於惡作護持 增長三精氣 離惡住善道
- 12 尔時諸来一切大衆諸天及人_レ軋_レ闍婆等咸
- 13 皆歎諸阿脩羅言善哉善哉
- 14 尔時世尊亦復歎彼四百億阿脩羅王及諸
- 15 眷属作如是言善哉善哉妙丈夫輩汝能如
- 16 是是名供養二世諸佛當勤_レ護持養育我法
- 17 佛之法眼而得熾然令三寶種久不斷絶是
- 18 故我今將於汝等及諸眷属付囑十方一切
- 19 諸佛現在住世未涅槃者及付賢劫一切苦
- 20 薩摩訶薩汝等常與彼諸阿脩羅生生相值
- 21 汝當於此賢劫之中得成正覺_レ出於世時當
- 22 與汝等作上施主護持正法持戒第一得禪
- 23 三昧具足忍力如此賢劫最後如来名曰盧
- 24 遮應正遍知出現於世尔時盧遮當授彼等

(第二紙) T13p353c15~

- 1 阿耨多羅三藐三菩提記便得速滿六波羅
- 2 蜜不久當為无上法王得入无畏涅槃_レ大城
- 3 如是若復有諸衆生若現在世及未来世於
- 4 我法中出家脩道三業相應若復放人出家
- 5 脩道若復有能勤加護持養育供給我諸聲_レ
- 6 聞比丘比丘尼優婆塞優婆夷令三寶種得
- 7 不斷絶若有能脩檀波羅蜜乃至般若波羅
- 8 蜜若有營造塔廟形像及以脩故種種捨施
- 9 供養供給四方衆僧置立寺舍及以脩故又
- 10 復於彼四方僧寺捨施種種衣服臥具器物
- 11 所須及施田宅財寶園林童僕_レ給使乃至畜

8 「流」の右に「流」の字あり。
 9 鄣=障【大】 大正藏に校注なし。
 10 軋=乾【大】 大正藏に校注なし。
 11 勤=懃【大】 大正藏に校注なし。
 12 「覺」の右に「覺」の字あり。
 13 「槃」の右に「槃」の字あり。
 14 「聲」の右に「聲」の字あり。

12 生若復見他捨施諸物還追奪者以力遮護
 13 若復施我聲聞弟子衣服飲食臥具湯藥一
 14 切所須我之所有聲聞弟子或有因緣遭遇
 15 苦惱若以自力若假他力方便令脱我以如
 16 是諸衆生等悉皆付囑十方現在一切諸佛
 17 及付賢劫所有菩薩摩訶薩等令其攝受生
 18 得相值若彼賢劫諸佛出世是諸衆生於彼
 19 佛所作大施主守護正法持戒第一得禪三
 20 昧具足忍力如此賢劫最。後如來出現於世
 21 于時彼佛當授彼等阿耨多羅三藐三菩提
 22 記便得速滿六波羅蜜不久當為无上法王
 23 得入无畏涅槃大城
 24 尔時復有无量億百千衆生悲淚滿目瞻仰

(第四紙) T13c354a10~

1 如來作如是言我今觀諸大悲世尊所有解
 2 脱出於三界一切諸道生死牢獄捨於渴愛
 3 離世人法及我我所憍慢煩惱離於一切十
 4 二有支知一切法猶如虛空住不顛倒常於
 5 衆生起大悲心然諸如來為衆生故令此法
 6 眼及三寶種於此娑婆久住不滅。故加護持
 7 如來今復以諸天龍夜叉羅刹。闍婆緊那
 8 羅。樓羅摩睺羅伽鳩槃荼。餓鬼毗舍遮。富
 9 單那迦吒富單那人非人等寄付諸佛及諸
 10 菩薩彼諸衆生現在未來若布施若持戒若
 11 脩定慧於此佛法精勤相應寄付諸佛及諸
 12 菩薩摩訶薩等為滿六波羅蜜令得阿耨多
 13 羅三藐三菩提故若有衆生厭苦求樂无不
 14 於現在世及未來世方便精勤護持養育熾

15 童僕||僮僕【大】 大正藏に校注なし。

16 「最」の右に「最」の字あり。

17 「瞻」の右に「瞻」の字あり。

18 「觀」の右に「觀」の字あり。

19 「滅」の右に「滅」の字あり。

20 軋||乾【大】 大正藏に校注なし。

21 伽||迦【大】 大正藏に校注なし。

22 荼||茶【大】

23 「富」の右に「富」の字あり。富||富【大】

15 然法眼紹三寶種而能得之佛言如是如是如
16 汝所言若有愛已厭苦求樂應當護持諸
17 佛正法從此當得无量福報若有衆生為我
18 出家剃除鬚髮披_レ服袈裟設不持戒彼等悉
19 已為涅槃印之所印也若復出家不持戒者
20 有以非法而作惱亂罵辱毀_レ以手刀杖_レ打
21 縛斫截若奪衣鉢及奪種種資生具者是人
22 則壞三世諸佛真實報身則挑一切天人眼
23 目是人為欲隱沒諸佛所有正法三寶種故
24 令諸天人不得利益墮地獄故為三惡道增

(第五紙) T13p354b05~

1 長盈滿故何以故我昔為於一切衆生脩苦
2 薩行為此法眼於諸衆生起大悲心捨己身
3 血猶如大海與諸乞者捨頭猶如毗福羅山
4 眼耳亦亦捨鼻猶如百千突盧那捨舌猶如
5 十_レ突盧那捨手捨脚各皆亦如毗福羅山捨
6 皮可覆一閻浮提亦捨无量象馬車牛奴婢
7 妻子及以王位與諸乞者亦復捨於无量國
8 土城邑宮殿村落舍宅寺廟園林衣服臥具
9 山澤林藪與諸乞者於諸佛所受持禁戒而
10 无缺犯一一佛所无量供養一一佛所稟受
11 无量那由他百千法門受持讀誦護持戒行
12 善脩三昧陀羅尼忍又我曾供養恭敬_レ敬无
13 量无边菩薩摩訶薩供養恭敬无量縁覺供
14 養无量佛聲聞衆供養无量到果聲聞供養
15 无量外道仙人供養无量父母師長供養无
16 量病苦之者亦於无量苦逼衆生无救護者
17 為作救護无歸依者為作歸依无趣向者為
18 作趣向令其安住及以供養我已无量長遠
19 劫數脩諸苦行持戒威儀梵行具足諸仁者
20 我已如是於彼三大阿僧祇劫悲愍一切苦

24 披=披【大】

25 誓=誓【大】

26 「杖(異体字か)」の右に「杖」の字あり。

27 十一=一【大】

28 「恭」の右に「恭」の字あり。

21 衆生故發大堅固勇猛之心久脩无上菩提
 22 之行我今於此盲冥世間无大導師儉法之
 23 時極惡增長白法盡時五无間業誹謗正法
 24 毀訾²⁹賢聖與不善根相應衆生瞋惡³⁰癩³⁰澀³¹離

(第六紙) T13p354b29~

1 諸羞恥无有慈愍不觀後世可怖畏事於如
 2 是等諸衆生中發心願成阿耨多羅三藐三
 3 菩提復於一切淨佛國土所棄衆生中降大
 4 法雨復願與彼諸衆生等除如金剛堅固煩
 5 惱彼等衆生隨其所欲於三乘菩提令不退
 6 轉復願救度二惡衆生安置³²善道及涅槃樂
 7 與彼衆生作正法眼加護令得久住於世長
 8 夜熾然彼諸衆生於我法中出家剃髮³³披³³服
 9 袈裟不持禁戒若有供養彼等人者如是衆
 10 生亦得大果何況為我出家持戒住法相應
 11 供養³⁴是³⁴者³⁴則³⁴得无量阿僧祇大福德聚何況
 12 復能種種供養我諸聲聞聖弟子衆而當不
 13 得无量不可說阿僧祇大福德聚是故我今
 14 於如是等諸衆生中於阿耨多羅三藐三菩
 15 提而成正覺一切世間天人中最以大悲故
 16 建立一切諸聲聞衆為上福田所謂得向八
 17 大丈夫以是緣故所有衆生於現在世及未
 18 來世應當深信佛法衆僧³⁵被³⁵諸衆生於人天
 19 中³⁶常³⁶得受於勝妙果報不久當得人无畏城
 20 如是乃至供養一人為我出家及有依我剃
 21 除鬚髮著袈裟片不受戒者供養是人亦得
 22 乃至入无畏城以是緣故我如是說若復有
 23 人為我出家不持禁戒剃除鬚髮著袈裟片

29 訾＝訾【大】
 30 癩＝癩【大】
 31 澀＝澀【大】 大正藏に校注なし。
 32 「置」の右に「置」と朱書きあり。
 33 披＝披【大】
 34 是＝侍【大】
 35 則＝即【大】
 36 被＝彼【大】 大正藏に校注なし。
 37 常＝當【大】

24 有以非法惱害此者乃至破壞三世諸佛法

(第七紙) T13p354c24~

- 1 身報身乃至盈滿三惡道故是故我上如是
- 2 告汝若有愛己求樂離苦應當精勤護持養
- 3 育熾然法眼紹隆三寶令不斷絕以是因緣
- 4 從此當得无量福報
- 5 余時月藏菩薩摩訶薩復與八十億那由他
- 6 百千菩薩摩訶薩俱從坐起合常向佛一心
- 7 敬礼作如是言如是如是大德婆伽婆於我
- 8 住處月勝世界大師如來日月光時時稱揚
- 9 娑婆世界釋迦牟尼昔菩薩時大勇猛力極
- 10 苦精勤而脩諸行如是菩薩以大慈悲大願
- 11 力故今者於彼五濁惡世無間罪業誹謗正
- 12 法毀賢聖不善相應諸衆生中於阿耨多
- 13 羅三藐三菩提而成正覺是佛於彼計斷計
- 14 常瞋惡龜燥^燥慳^慳无有慈愍歸依邪道求種種師
- 15 不觀後世可怖畏事諸衆生中為之說法然
- 16 諸衆生勤作方便欲害釋迦牟尼如來或以
- 17 毒藥和食而奉或以刀杖惡象師子惡牛惡
- 18 狗方便欲害或有謗言而无梵行或言非男
- 19 或言是賊或言煞生作如是等種種誹謗或
- 20 復有以塵土汚塗或有於大衆中龜^龜罵^罵詈^詈
- 21 種種毀訾^訾或有於佛住處以諸臭穢不淨之
- 22 物汚令盈滿或有見者啼泣不^慙或有見者
- 23 合眼掩面或有見者背走遠逝有不欲見^閉
- 24 戸塞窓而彼釋迦牟尼如來於此一切惡衆

38 十^十千【大】

39 「坐」の右に「坐」の字あり。

40 「常」の右に「掌」の字あり。

41 「揚」の右に「揚」の字あり。

42 十佛【大】

43 誓^誓二^二咥【大】

44 燥^燥二^二慳【大】

45 「龜」の右に「龜」の字あり。

46 獮^獮二^二穢【大】

47 誓^誓二^二咥【大】

48 「憲」の右に「憲」の字あり。憲^憲二^二喜【大】

49 「閉」の右に「閉」の字あり。閉^閉二^二閉【大】 大正蔵に校注なし。大正蔵に校注なし。

(第八紙) T13p355a19~

- 1 生中而能忍受如是无量衆惡苦事亦復於
- 2 彼諸惡衆生不瞋不惱然復不捨晝夜常於
- 3 彼諸衆生起大悲心一切時處隨逐化之如
- 4 少犍牛初生犢子而未長大忽然失之其母
- 5 尔時求覓而走如是釋迦牟尼如来亦復如
- 6 是於諸衆生其心平等以大悲故隨逐而走
- 7 於三惡道而拔濟⁵⁰之置⁵¹於善道及涅槃樂如
- 8 是大悲相應具足今此釋迦牟尼如来娑婆
- 9 世界而作佛事尔時於彼一切大衆聞此事
- 10 已皆生希奇未曾有心歡⁵²喜⁵³踊躍於彼佛前
- 11 作如是言大德婆伽婆我等亦尔當以精勤
- 12 大勇猛力⁵⁴逕⁵⁵於无量阿僧祇劫脩菩提行行
- 13 檀波羅蜜乃至行般⁵⁶若波羅蜜如是善巧方
- 14 便成熟諸衆生故而脩諸行猶如釋迦牟尼
- 15 如来作菩薩時久脩菩提行願於五濁不淨
- 16 世界惡衆生中於阿耨多羅三藐三菩提而
- 17 成正覺乃至安置⁵⁷一切衆生於諸善道及涅
- 18 槃樂我亦如是願於五濁不淨佛土於阿耨
- 19 多羅三藐三菩提而成正覺如是成熟五无
- 20 間業乃至與彼諸不善根相應衆生安置⁵⁸善
- 21 道及涅槃樂彼諸衆生即時於日光佛所
- 22 如上所願得授記者
- 23 尔時會中復有无量恒河沙等菩薩摩訶薩
- 24 是於十方為見釋迦牟尼佛故為供養故見

(第九紙) T13p355b14~

- 1 大集故而来此者彼諸菩薩咸同一音作如
- 2 是言大德婆伽婆我等亦各於己佛土從彼

50 「濟」の右に「濟」の字あり。
 51 「置」の右に「置」と朱書きあり。
 52 「歡」の右に「歡」の字あり。
 53 「喜」の右に「喜」の字あり。
 54 逕⁵⁵經【大】大正藏に校注なし。
 55 「般」の右に「般」の字あり。
 56 「置」の右に「置」と朱書きあり。
 57 「置」の右に「置」と朱書きあり。

3 如來各聞如是稱楊⁵⁸世尊如月藏菩薩之所
 4 說也於彼各有那由他諸菩薩等悉皆如是
 5 發大誓願為欲成熟諸衆生故而作佛事亦
 6 如月藏菩薩摩訶薩之所說也
 7 尔時復有於彼諸來一切天龍乃至一切迦
 8 吒富單那人非人等皆悉合掌作如是言我
 9 等謝過大悲釋迦牟尼如來應正遍知我等
 10 於佛若身口意所作罪過若於法僧及於世
 11 尊一聲聞弟子所作罪過今於佛前誠心懺
 12 悔願更莫造堅持禁戒我等无知猶如小兒
 13 不善所行唯願世尊大悲深愍受我懺悔我
 14 等受寄護持養育世尊法眼以諸方便令得
 15 熾然護持三寶久住不滅亦能增長三種精
 16 氣遮⁵⁹鄣⁶⁰諸惡於佛一切聲聞弟子乃至若復
 17 不持禁戒剃除鬚髮著袈裟片者作師長想
 18 護持養育與諸所須令无乏少若復有諸刹
 19 利國王作諸非法惱亂世尊聲聞弟子若以
 20 毀罵刀杖打斫及奪衣鉢種種資具若他給
 21 施作留難者我等令彼自然卒⁶¹起他方怨敵
 22 及自國土亦令兵起病疫飢⁶²非時風雨闔
 23 諍言訟誹謗譏調又令其王不久復當亡失
 24 己國如是若復諸婆羅門毗舍首陀男夫婦

(第十紙) T13255c08~

1 人⁶³童男童女若餘天龍乃至迦吒富單那等
 2 於佛所有聲聞弟子作其惱亂若奪精氣氣
 3 嘘其身乃至惡心以眼視之我等悉共令彼
 4 天龍乃至迦吒富單那等所有諸根缺滅醜
 5 陋不依處所我以誓力悉令如是我等遊止
 6 及常居處令彼不復得與我等共住共食亦
 7 復不得同處戲⁶⁴如是⁶⁵債⁶⁶罰⁶⁷若有惱亂乃至

58 「揚」の右に「揚」の字あり。楊||揚【大】
 59 鄣||障【大】 大正藏に校注なし。
 60 「卒」の右に「卒」の字あり。
 61 餓||饑【大】 大正藏に校注なし。
 62 人||女【大】 大正藏に校注なし。
 63 咲||笑【大】 大正藏に校注なし。
 64 債(異体字か) ||擯【大】 大正藏に校注なし。

- 8 剃髮披⁸⁸。服袈裟不持戒者亦復如是若復世
- 9 尊聲聞弟子乃至无所積聚有慈愍心三業
- 10 相應如是時來我等能護令世尊法⁸⁹熾然不
- 11 滅
- 12 尔時世尊而讚歎言善哉善哉諸妙丈夫汝
- 13 若如是則於一切所作事中无諸過失汝等
- 14 以是受我付囑護持養育熾然法故便為供
- 15 養三世諸佛若汝勤加護持養育熾然我法
- 16 紹三寶種令不斷絕若有為我已出家者及
- 17 與未來諸出家者汝等亦應護持養育此是
- 18 汝等阿耨多羅三藐三菩提因
- 19 尔時羅睺羅阿脩羅王與无量百千阿脩羅
- 20 等俱從坐⁹⁰起合掌向佛一心敬礼作如是言
- 21 大德婆伽婆我等亦為勤護養育熾然佛法
- 22 令三寶種不斷絕故為降伏他故休息遮⁹¹鄢⁹²
- 23 一切諸惡故令三精氣得增長故復為護持
- 24 攝受養育世尊所有聲聞弟子及正法故復

(第十一紙) T13p356a04~

- 1 為利益諸衆生故遮諸罪過摧諸惡人降伏
- 2 諸怨并除一切邪鬼魍魎息諸鬪諍成就一
- 3 切諸禾苗稼令諸惡人得作善友悉攝一切
- 4 散亂者故又令所欲皆得稱意故說大⁹³隨⁹⁴囉
- 5 尼名曰電光嚩縮作是語已即說呪曰
- 6 多地夜他 囉婆系 囉婆系
- 7 囉婆系 曼讎囉系 阿婆讎囉系
- 8 跋囉摩囉系 珊都囉系 闍婆勤⁹⁵那囉系
- 9 阿婆蜜唎始⁹⁶也囉系 伽那底囉囉系 伽婆叉収達囉囉系
- 10 首收達囉 首收達囉 首收達囉囉系
- 11 牟尼婆遮那囉系 底唎囉且那朋⁹⁷舍囉系

⁸⁵ 罰⁸⁶罰【大】 大正藏に校注なし。

⁸⁶ 披⁸⁷披【大】

⁸⁷ 十眼【大】

⁸⁸ 坐⁸⁹座【大】 大正藏に校注なし。

⁸⁹ 鄢⁹⁰障【大】 大正藏に校注なし。

⁹⁰ 隨⁹¹陀【大】 大正藏に校注なし。

⁹¹ 勤⁹²勒【大】

⁹² 始⁹³【大】

- 12 朱⁷³勤那 底喇⁷⁴鳴⁷⁵闍牟尼囉系
- 13 質囉迦羅 底喇牟尼囉系 旃達囉窳⁷⁶那
- 14 頭婆囉系邏 蘇婆呵
- 15 大德婆伽婆此電光噤縮大陀羅尼悉能饒
- 16 益一切衆生乃至令諸所欲稱意若有比丘
- 17 比丘尼優婆塞優婆夷若餘清信善男子善
- 18 女人等能與禪法相應而住若復營事若行
- 19 蘭若若在樹下若在露地如是人等若能受
- 20 持讀誦念此電光噤縮大陀羅尼若有阿脩
- 21 羅阿脩羅婦阿脩羅父阿脩羅母⁷⁷及與兒女
- 22 若阿脩羅左右眷屬男婦及阿脩羅給
- 23 使之人欲來惱害伺其便者皆悉不能得彼
- 24 少分是阿脩羅不復還能入己城邑令其頭

(第十一紙) T13p356a26~

- 1 破以為七分如阿梨樹⁷⁸花⁷⁹尔時諸来一切大
- 2 衆咸皆歎言善⁸⁰哉善哉
- 3 尔時毗摩質多羅阿脩羅王復與百千阿脩
- 4 羅等俱從⁸¹坐⁸²起合掌向佛一心敬礼作如是
- 5 言大德婆伽婆我等亦為護持養育世尊所
- 6 說正法眼故乃至增長三種精氣故復為護
- 7 持攝受養育世尊所有聲聞弟子故又為降
- 8 伏一切怨家令諸惡人皆生歸仰⁸³休息一切
- 9 所有疾病伏諸剛強攝諸惡人令作善友具
- 10 好眷屬令諸種子得生不壞成熟一切果實
- 11 苗稼故說大陀羅尼名師子遊步作是語已
- 12 即說呪曰
- 13 多地夜他凍⁸⁴娑樓⁸⁵反⁸⁶ 唎夜 跋囉⁸⁷合⁸⁸ 佉帝⁸⁹反⁹⁰
- 14 跋囉⁹¹合⁹²跋囉⁹³合⁹⁴ 阿牟尼 阿牟佉牟尼

73 朋⁷³羽【大】
 74 朱⁷⁴失【大】
 75 鳴⁷⁵鳴【大】
 76 「窳」の右に「菟」の字あり。
 77 「母」の右に「母」の字あり。
 78 花⁷⁸枝【大】 大正藏に校注なし。
 79 「善」の右に「善」の字あり。
 80 坐⁸⁰座【大】 大正藏に校注なし。
 81 「仰」の右に「仰」の字あり。
 82 合⁸²企【大】 大正藏に校注なし。

- 15 闍邪毗闍易 阿婆囉匙⁸⁵ 邪闍夷泥
- 16 娑⁸⁶呵薩囉叉 法(唎十尒)⁸⁷ 阿那佉(唎十尒)⁸⁸ 毗邪寐失羅⁸⁹佉(唎十尒)⁹⁰
- 17 牟那迦囉娑佉(唎十尒)⁹¹ 阿蜜多受沙佉(唎十尒)⁹² 阿⁹³婆咩
- 18 沙⁹⁴斯邪⁹⁵嘍⁹⁶系 常伽囉奢咩 頗邏囉娑勿達(唎十尒)⁹⁷
- 19 設闍嘍 奢摩那⁹⁸憍憍僧伽奢咩
- 20 憂波扇多呵唎 蘇婆呵
- 21 大德婆伽婆此師子遊步大陀羅尼能伏諸
- 22 怨乃至成熟一切苗稼若有比丘乃至清信
- 23 善女人等與禪相應乃至露地受持讀誦流
- 24 布如是師子遊步大陀羅尼若有阿脩羅乃

(第十三紙) T13p356b21~

- 1 至給使欲來惱害伺其便者給⁹⁹不能得彼之
- 2 少分是等亦復不能還入阿脩羅城令其頭
- 3 破而作七分如阿梨樹枝尒時諸來一切大
- 4 衆亦皆歎言善哉善哉
- 5 尒時牟真隣陀阿脩羅王與无量百千阿脩
- 6 羅等俱從坐¹⁰⁰起合掌向佛一心敬礼作如是
- 7 言大德婆伽婆我等亦為護持養育世尊所
- 8 說正法眼故乃至增長三種精氣故復為護
- 9 持攝受養育世尊所有聲聞弟子故說大陀
- 10 羅尼名伏諸龍作是語已即說呪曰
- 11 多地夜他 毗唎¹⁰¹沙叉 毗唎沙叉

83 尒||尒【大】 大正藏に校注なし。
 84 尒||尒【大】 大正藏に校注なし。
 85 匙||題【大】
 86 娑||婆【大】
 87 (唎十尒) || 嚩【大】
 88 (唎十尒) || 嚩【大】
 89 羅||囉【大】 大正藏に校注なし。
 90 (唎十尒) || 唎【大】 大正藏に校注なし。
 91 (唎十尒) || (口+利+入+水)【大】
 92 (唎十尒) || (口+利+入+水)【大】
 93 阿||何【大】 大正藏に校注なし。
 94 沙||娑【大】
 95 邪||那【大】
 96 嘍||嚩【大】
 97 (唎十尒) || (口+利+入+水)【大】
 98 +博【大】
 99 「給」の右に「終」の字あり。給||終【大】
 100 坐||座【大】
 101 唎||嚩【大】

- 12 毗喇沙又線(須陵¹⁰³/反) 呵毗喇矢至迦 毗喇沙佉那
 13 摸囉曷多 呵呵紂呵 紂呵紂伽伽紂
 14 渠竭嚧¹⁰³ 渠竭嚧¹⁰⁴ 三牟達囉
 15 渠竭嚧¹⁰⁵ 薩婆闍¹⁰⁶ 渠竭嚧¹⁰⁷
 16 悉那婆渠竭嚧¹⁰⁸ 薩婆浮闍伽 渠竭嚧
 17 呵呵渠竭嚧 悉多婆闍多 渠竭嚧
 18 娑緊拓¹⁰⁹那 渠竭嚧 阿婆多呵¹¹⁰膩夜
 19 娑¹¹¹斫闍毗夜 呵¹¹²膩夜 軍陁¹¹³闍婆
 20 遮羅闍牟邏 阿佉闍 呵膩夜闍
 21 婆羅闍 毗弥奢 呵¹¹⁴膩夜闍
 22 阿衫浮 呵膩夜 蕪¹¹⁵婆呵
 23 大德婆伽婆此伏諸龍大陀羅尼悉能休息
 24 一切疾病亦能捲縮打縛一切惡鬼不令為

(第十四紙) T13p356c15~

- 1 害能止非時惡風暴雨諸惡毒氣亦能降伏
 2 眼視煞人衆惡龍等斷諸欲著於諸龍身能
 3 作熱惱及能熱惱其所住處熱惱其心熱惱
 4 其業熱惱所有資生之具大德婆伽婆若有
 5 比丘乃至清信善女人等與禪相應乃至露
 6 地受持讀誦流布如是降伏諸龍大陀羅尼
 7 若有龍若龍婦若龍父若龍母若龍兒女若
 8 龍左右男夫婦女若龍給使欲來惱害伺其
 9 便者乃至不能得彼少分令其反得熱惱之
 10 病頭破七分如阿梨¹¹⁶樹枝

- 102 陵||凌【大】
 103 嚧|| (口+利+入+水)【大】
 104 嚧|| (口+利+入+水)【大】
 105 嚧|| (口+利+入+水)【大】
 106 闍||闍【大】
 107 嚧|| (口+利+入+水)【大】
 108 嚧|| (口+利+入+水)【大】
 109 拓||拓【大】
 110 呵||阿【大】
 111 娑||婆【大】
 112 呵||阿【大】
 113 陁||他【大】
 114 呵||阿【大】
 115 蕪(部首は魚ではない) ||蘇【大】 大正蔵に校注なし。
 116 梨||梨【大】

- 11 余時四天下所有諸龍來在會者皆悉瞋怒
- 12 怖彼所來阿脩羅城諸阿脩羅令使驚怖不能自安
- 13 余時復有娑伽羅龍王從^三而起向諸大龍
- 14 合掌作礼而說偈言
- 15 若有見大聖 是人則除瞋 離瞋即為聖 應當止悲惱
- 16 忍辱世第一 忍得世間樂 忍辱離諸怨 忍趣安隱城
- 17 无意^二阿脩羅 恒與我等怨 但當自容忍 佛常如是說
- 18 由瞋趣惡道 瞋還增長瞋 以瞋捨朋友 瞋不得解脫
- 19 我等畜生道 惡戒瞋恚故 若能除瞋慢 得生於人中
- 20 既得人身已 歸佛而回家 脩習解脫行 當為大導師
- 21 余時娑伽羅龍王如是諫^一已一切諸龍皆得
- 22 忍辱面色熙怡各坐本處
- 23 余時跋持毗盧遮那阿脩羅王復與无量百
- 24 余時跋持毗盧遮那阿脩羅王復與无量百

(第十五紙) T13p357a15~

- 1 千阿脩羅等俱從^二起合掌向佛一心敬礼
- 2 作如是言大德婆伽婆我等亦為護持養育
- 3 世尊正法令三寶種不斷絕故勤降伏他一切
- 4 切惡事及諸惡人皆悉休息令三精氣而得
- 5 增長故復為救護攝受養育世尊一切聲聞
- 6 弟子故說大陀羅尼名休息衆病作是語已
- 7 即說呪曰
- 8 多地夜他 摸楞伽摩 摩朋伽摩
- 9 阿毗朋伽摩 闍邏朋伽摩 悉多婆毗嚩 (呵朋 / 反)
- 10 伽摩 跋¹²¹戶夜毗嚩伽摩 餘¹²²尼毗嚩伽摩
- 11 阿舍尼毗嚩伽摩 婆呵毗嚩伽摩差 (又 / 梨反¹²³) 囉毗囉婆利¹²⁴
- 12 珊底囉毗恒伽摩 娑伽囉闍邏丘肘 闍邏丘肘毗轉舍丘
- 13 肘薩婆盧伽 因地喇¹²⁵邪丘肘 悉蜜喇底

117 坐 || 座 【大】 大正蔵に校注なし。

118 意 || 量 【大】

119 諫 || 說 【大】

120 坐 || 座 【大】 大正蔵に校注なし。

121 跋 || 跋 【大】 大正蔵に校注なし。

122 餘 || 除 【大】

123 「反」の字は、後から補ったような字。

124 利 || 梨 【大】

125 喇 || 利 【大】

- 14 毗朋楞舍丘肘 蘇婆呵
- 15 大德婆伽婆此休息衆病大陀羅尼能除所
- 16 有一切病苦息諸毒害一切惡毒亦能降伏
- 17 一切惡龍令與世尊聲聞弟子奉給所須猶
- 18 如奴僕
- 19 余時諸来一切龍衆諸大龍王皆悉瞋忿於
- 20 虛空中即起大雲在阿脩羅上欲聲大鼓欲
- 21 降大石雨鐵縑索積予刀杖刀面鐵口利齒
- 22 口竹口瓶口如是等形為欲害諸阿脩羅而
- 23 不能得
- 24 余時世尊告諸龍衆阿脩羅言汝等莫闕應

(第十六紙) T13p357b17~

- 1 脩忍辱仁者若能離於瞋怒成就忍辱速得
- 2 十處何等為十一者得作王王四天下自在
- 3 輪王二者毗樓博叉天王三者毗樓勒天王四
- 4 者提頭賴吒天王五者毗沙門天王六者釋
- 5 天王七者須夜摩天王八者兜率陀天王九
- 6 者化樂天王十者他化自在天王諸仁者若
- 7 具足忍是人速得如是十處忍辱近果復次
- 8 諸仁者若能深忍轉增具足當知是人復得
- 9 五處何等為五者梵衆二者大梵天王三
- 10 者聲聞道果四者緣覺五者如來應正應知
- 11 諸仁者若能深忍轉增具足是人速得如是
- 12 五處又若具足脩行忍者自然近得一切世
- 13 間勝妙五欲資生所須皆悉具足是人若復
- 14 至到脩行忍功德者得聖安樂若有非聖凡
- 15 下之人獷戾自高性常瞋怒於多人所現大
- 16 瞋恚當知是人身壞命終墮於地獄若復儻
- 17 得出彼地獄生於下劣畜生道中作下劣龍
- 18 身阿脩羅身若得生人極下卑賤諸根殘缺
- 19 或長諸根或復无根或復二根或復大根形
- 20 容醜陋跛躄背偻身體臭穢生旃陀羅妓作

136 予予 鈔【大】

137 十又【大】

138 「應」の右に「遍」の字あり。應應 遍【大】

- 21 邪媚如是等餘下賤之家若生邊地少衣乏
- 22 食下賤家生及无福田熹作種種不善之處
- 23 以是因緣是人展轉復趣地獄畜生餓鬼諸
- 24 仁者我今略說如是不忍瞋怒果報諸仁者

(第十七紙) T13p357c12~

- 1 以瞋恚故於生死中增長无量惡不善法以
- 2 是因緣是人轉復墮於地獄畜生餓鬼諸仁
- 3 者是故我今如是告汝一切諸龍阿脩羅等
- 4 汝已長夜各各迭相違反而住汝等一切今
- 5 悉於我及與諸來大衆之前各各迭相應生
- 6 至到忍辱之心當息久積心心瞋怒若不能
- 7 忍必令汝得所不熹果是故汝等各相容忍
- 8 若能不瞋鬪諍譏調言訟嫉妬自守而住汝
- 9 等如是必定當得勝妙之事无諸過惡
- 10 尔時諸來一切大衆咸皆歎言善哉善哉汝
- 11 能如是受佛教誡各各如是迭相忍辱便得
- 12 於此四天下中常得勝報无諸惡事
- 13 尔時月藏菩薩摩訶薩復告娑伽羅龍王羅
- 14 睺羅阿脩羅王阿那婆沓多龍王毗摩質多
- 15 羅阿脩羅王婆樓那龍王牟真隣陁阿脩羅
- 16 王善住龍王跋持毗盧遮那阿脩羅王以偈
- 17 教言

- 18 汝等得授記 最勝非餘乘 何故於導師 而无羞慙恥
- 19 執持筏而溺 多衆随駛流 如是棄最勝 一切所厭賤
- 20 凡龍阿脩羅 瞋故被厭賤 汝等妙丈夫 悉應捨恚怒
- 21 慈能趣善道 具受諸欲樂 慈能離諸難 及作善知友
- 22 慈能得大智 及依大明師 慈能離諸惡 亦令人樂觀
- 23 慈得具大富 常能施一切 慈能樂戒定 復得最勝慧
- 24 慈能得工巧 善學一切事 慈於最勝處 端坐化衆生

(第十八紙) T13p358a15~

- 1 慈得勝妙身 備相端正容 慈能具妙音 衆人悉樂聞

129 熹=喜【大】 大正藏に校注なし。
 130 熹=喜【大】 大正藏に校注なし。
 131 慙=慚【大】 大正藏に校注なし。
 132 筏=楫【大】 大正藏に校注なし。

- 2 慈得善眷屬 梵行无嫉妬 樂法具慙¹³³愧¹³⁴ 明人常隨喜¹³⁴
 3 慈能得官位 坐於勝坐¹³⁵處 能息衆生惡 安置¹³⁶菩提道
 4 慈能得十地 及忍陀羅尼 慈能成就悲 捨離於諸著
 5 慈能得神足 值遇明導師 慈能得淨土 清淨離煩惱
 6 慈能降衆魔 到大菩提岸 慈於天人中 能轉正法輪
 7 慈能化衆生 置¹³⁷於三乘處 慈能善說法 降伏諸外道
 8 慈以八聖道 度脱天人等 安置¹³⁸不死處 汝等皆能入
 9 我今與汝等 慈心陀羅尼 我於億佛所 專心得聽聞
 10 汝以己眷屬 安置¹³⁹慈忍處 相於起慈心 長夜得安樂
 11 尔時月藏菩薩摩訶薩說此偈已即說呪曰
 12 多地夜他 迷帝嚳 摩呵¹⁴⁰迷帝嚳
 13 迷多¹⁴¹囉窶跋帝 迷哆囉囉匙 迷哆囉憇
 14 迷哆囉¹⁴²侯系 迷哆囉隸 迷帝嚳
 15 迷帝嚳 迷嚳娑鞞訖嚳¹⁴³帝 娑呵囉匙
 16 閔¹⁴⁴邏風伽徒 藪¹⁴⁵囉¹⁴⁶邪呵尼¹⁴⁷ 婆邏浮常著
 17 初羅叉鞞 那邪那嚳系 俱嚳他車掣
 18 阿摸伽囉泥 囉闍頰寄 吉隸奢藪囉
 19 三摩囉泥 浮闍伽鞞嚳系 奴膩
 20 多鞞唎¹⁴⁸系 阿囉尸¹⁴⁹ 刹哆囉豆嚳咩
 21 阿求隸 耆唎哆囉匙 呵¹⁵⁰囉悉那鞞
 22 阿俱卑易¹⁵¹嚳 摸叉毗鉢囉易
 23 俱嚳他又易 以世反 蘇婆呵

- 133 慙¹³³慚【大】 大正蔵に校注なし。
 134 「喜」の右に「喜」の字あり。
 135 坐¹³⁵座【大】 大正蔵に校注なし。
 136 「置」の右に「置」と朱書きあり。
 137 「置」の右に「置」と朱書きあり。
 138 「置」の右に「置」と朱書きあり。
 139 「置」の右に「置」と朱書きあり。
 140 呵¹⁴⁰訶【大】 大正蔵に校注なし。
 141 多¹⁴¹哆【大】 大正蔵に校注なし。
 142 囉¹⁴²囉【大】 大正蔵に校注なし。
 143 嚳¹⁴³嚳【大】
 144 閔¹⁴⁴閉【大】
 145 「藪」の右に「藪」の字あり。
 146 囉¹⁴⁶囉【大】 大正蔵に校注なし。
 147 尼¹⁴⁷泥【大】
 148 唎¹⁴⁸嚳【大】
 149 尸¹⁴⁹尼【大】
 150 企¹⁵⁰企【大】 大正蔵に校注なし。
 151 呵¹⁵¹阿【大】
 152 十鳩【大】

24 諸仁者此大慈心陀羅尼我曾往昔於億佛

(第十九紙) T13p358b19~

- 1 所從彼得聞汝等應當於己眷屬及他眷屬
- 2 息怒惡心而教授之月藏菩薩摩訶薩說是
- 3 慈心陀羅尼時如來歎言善哉善哉一切所
- 4 有諸來大衆諸天¹⁵³ 闍婆阿脩羅人非人等
- 5 亦皆歎言善哉善哉

- 6 余時諸天各得住於慈心忍心无怨心无言
- 7 訟心迭相謝過天向諸龍龍向諸天慈心忍
- 8 心无怨心无鬪諍心无言訟心迭相謝過諸
- 9 天向阿脩羅阿脩羅向諸天乃至謝過諸龍
- 10 向阿脩羅阿脩羅向諸龍乃至謝過諸天向
- 11 夜叉夜叉向諸天乃至謝過悉如上說如是
- 12 如是天向羅刹¹⁵⁴ 闍婆緊那羅¹⁵⁵ 樓羅摩睺
- 13 羅伽鳩槃荼¹⁵⁶ 餓鬼毗舍遮富單那迦吒富單
- 14 那住於慈心忍心无怨心无鬪諍心无言訟心
- 15 乃至迦吒富單那向彼諸天住於慈心乃至
- 16 謝過亦如上說龍向夜叉乃至迦吒富單那
- 17 住於慈心乃至謝過夜叉乃至迦吒富單

- 18 那向於諸龍乃至謝過亦皆是乃至迦吒
- 19 富單那向迦吒富單那住於慈心乃至謝過
- 20 亦復如是彼等皆以大慈心陀羅尼力因緣
- 21 故一切天龍阿脩羅夜叉羅刹¹⁵⁴ 闍婆緊那
- 22 羅伽樓羅摩睺羅伽鳩槃荼¹⁵⁶ 餓鬼毗舍遮富
- 23 單那迦吒富單那等迭相住於慈心忍心无
- 24 怨心无言訟心无鬪諍心離瞋怒心離嫉妬

(第二十紙) T13p358c14~

- 1 心是大慈心陀羅尼力因緣故一切人類迭
- 2 相住於慈心忍心憐愍心无怨心无言訟心

153 軋 || 乾 【大】 大正藏に校注なし。
 154 軋 || 乾 【大】 大正藏に校注なし。
 155 迦 || 伽 【大】
 156 荼 || 茶 【大】
 157 軋 || 乾 【大】 大正藏に校注なし。
 158 荼 || 茶 【大】

- 3 无闕諍心一切畜生若禽獸乃至極下微
- 4 小諸蟲迭相住於慈心忍心憐愍心无怨心
- 5 无闕諍心无違反心
- 6 余時諸天乃至一切迦吒富單那人非人等
- 7 所來大衆合掌向佛恭敬禮拜同時一音作
- 8 如是言我等皆已承佛威神迭相謝過迭相
- 9 住於慈心忍心憐愍心无怨心无諍訟心我
- 10 等一切今當亦復謝過如來應正遍知我等
- 11 昔來於世尊所若身口意所作罪過及於法
- 12 僧若身口意所作罪過乃至世尊一聲聞弟
- 13 子所若身口意所作罪過乃至若有為佛剃
- 14 髮著袈裟片作違反行非法器者若身口意
- 15 所作罪過是等諸罪悉於佛前誠心懺悔脩
- 16 戒威儀願佛容恕受我等懺當令我得住戒
- 17 威儀又復我等從今以往乃至剃髮著袈裟
- 18 片作違反行者及佛聲聞弟子所悉當發心
- 19 作導師想護持養育具足供給一切所須不
- 20 令乏少佛言善哉善哉諸妙丈夫成就忍辱
- 21 乃至汝等於我佛所若身口意所作罪過若
- 22 於法僧所作罪過乃至於我一聲聞弟子若
- 23 身口意所作罪過乃至為我剃除鬚髮著袈

(第十一紙) T13p359a07~

- 1 袈片者若身口意所作罪過各自深觀如是
- 2 罪業誠心懺悔皆得除滅不受惡報如是汝
- 3 等皆當護持養育我法乃至為我出家剃髮
- 4 不持禁戒著袈裟片者汝等皆應護持養育
- 5 若能護持養育此者深可讚嘆^{〔三〕}若我所有聲
- 6 聞弟子持戒具足多聞捨慧解脫知見悉具
- 7 足者汝等皆應護持養育彼等自以過去善
- 8 根福德因緣善得供養若有衆生於未來世
- 9 无智慧福德為我剃髮著袈裟片不受禁戒
- 10 或受毀犯於諸善法不得相應若復護持養
- 11 育此者得无量福我與彼等作善導師憐愍
- 12 利益何以故當來之世有惡衆生於三寶中

〔三〕 嘆^{〔三〕} 歎^{〔三〕} 歎^{〔三〕} 大正藏に校注なし。

- 13 少作善業若行布施若復持戒脩諸禪定以
- 14 其如是少許善根作諸國王愚癡无智无羞
- 15 慙¹⁵³愧¹⁵⁴憍¹⁵⁵慢¹⁵⁶熾¹⁵⁷盛¹⁵⁸无有慈愍不觀後世可怖畏
- 16 事彼等惱亂我諸所有聲聞弟子打縛罵辱
- 17 或復¹⁵⁹駟¹⁶⁰使令其供給奪其飲食衣鉢湯藥所
- 18 須之物寺舍園田繫(門+牛)¹⁶¹牢獄¹⁶²償¹⁶³從¹⁶⁴謫¹⁶⁵罰¹⁶⁶乃至
- 19 剃髮著袈裟片者亦復如是及以群臣諸斷
- 20 事者愚癡无智離諸羞慙¹⁶⁷无有慈愍不觀後
- 21 世可怖畏事彼等惱亂我諸聲聞乃至繫獄
- 22 償¹⁶⁸從¹⁶⁹謫¹⁷⁰罰¹⁷¹乃至為我剃除鬚髮著袈裟片者
- 23 亦復如是我今以此諸出家者悉付於汝勿

(第二十一紙) T13p359b01~

- 1 令彼等飢渴孤獨致於命終
- 2 尔時上坐¹⁷²阿若憍陳如從坐¹⁷³而起作如是言
- 3 大德婆伽婆彼等刹利若婆羅門毗舍首陀
- 4 如是等人惱亂世尊聲聞弟子得幾許罪且
- 5 置¹⁷⁴持戒若復為佛剃除鬚髮著袈裟片不受
- 6 禁戒受而毀犯惱亂此者得幾許罪佛言止
- 7 上¹⁷⁵憍陳如莫問此事
- 8 尔時娑婆世界主大梵天王即從坐¹⁷⁶起而白
- 9 佛言大德婆伽婆唯願說之大德脩伽陀唯
- 10 願說之若有為佛剃除鬚髮被服袈裟不受
- 11 禁戒受已毀犯其刹利王與作惱亂罵辱打
- 12 縛者得幾許罪佛言大梵我今為汝且略說

153 慙¹⁵³ 大正藏に校注なし。
 154 駟¹⁵⁴ 大正藏に校注なし。
 155 憍¹⁵⁵ 「(門+牛)」の右に「閉」の字あり。(門+牛) 閉【大】 大正藏に校注なし。
 156 慢¹⁵⁶ 大正藏に校注なし。
 157 熾¹⁵⁷ 大正藏に校注なし。
 158 盛¹⁵⁸ 大正藏に校注なし。
 159 或復¹⁵⁹ 大正藏に校注なし。
 160 駟¹⁶⁰ 大正藏に校注なし。
 161 須之物寺舍園田繫(門+牛)¹⁶¹ 大正藏に校注なし。
 162 牢獄¹⁶² 大正藏に校注なし。
 163 償¹⁶³ 大正藏に校注なし。
 164 從¹⁶⁴ 大正藏に校注なし。
 165 謫¹⁶⁵ 大正藏に校注なし。
 166 罰¹⁶⁶ 大正藏に校注なし。
 167 羞慙¹⁶⁷ 大正藏に校注なし。
 168 償¹⁶⁸ 大正藏に校注なし。
 169 從¹⁶⁹ 大正藏に校注なし。
 170 坐¹⁷⁰ 大正藏に校注なし。
 171 置¹⁷¹ 大正藏に校注なし。
 172 「上」の右に「置」と朱書きあり。
 173 「上」の右に「止」の字あり。上止【大】
 174 坐¹⁷⁴ 大正藏に校注なし。

- 13 之若有人於万億佛所出其身血於意云何
- 14 是人得罪寧為多不大梵王言若人但出一
- 15 佛身血得无間罪尚多无量不可算數墮於
- 16 阿鼻大地獄中何況具出万億諸佛身血者
- 17 也終无有能廣說彼人罪業果報唯除如来
- 18 佛言大梵若有惱亂罵辱打縛為我剃髮著
- 19 袈裟片不受禁戒受而犯者得罪多彼何以
- 20 故如是為我出家剃髮著袈裟片雖¹⁷⁵不受戒
- 21 或受毀犯是人猶能為諸天人示涅槃道是
- 22 人便已於三寶中心得敬信勝於一切九十
- 23 五道其人必速能入涅槃勝於一切在家俗
- 24 人唯除在家得忍辱者是故天人應當供養

(第十一紙) T13p359b26~

- 1 何況具能受持禁戒三業相應諸仁者其有
- 2 一切刹利國王及以羣臣諸斷事者如其見
- 3 有於我法中而出家者作大罪業大煞生大
- 4 偷盜大非梵行大妄語及餘不善如是等類
- 5 但當如法償¹⁷⁶出國土城邑村落不聽在寺亦
- 6 復不得同僧事業利養之物悉不共同不得
- 7 鞭打若鞭打者理所不應又亦不應口業罵
- 8 辱一切不應加其身罪若故違法而謫罰¹⁷⁷者
- 9 是人便於解脫退落受於下類遠離一切人
- 10 天善道必定歸趣阿鼻地獄何況鞭打為佛
- 11 出家具持戒者
- 12 尔時復有一切諸天一切諸龍乃至一切迦
- 13 吒富單那諸來大衆於三寶中得增上信尊
- 14 重敬仰及希有心復作是言我等一切從今
- 15 以往護持養育世尊正法及與比丘比丘尼
- 16 優婆塞優婆夷乃至毀犯佛禁戒者我等亦
- 17 當攝受護持乃至為佛剃除鬚髮著袈裟
- 18 片不受禁戒无所積聚我亦於後¹⁷⁸作導師想護
- 19 持養育供給所須皆令具足若諸國王見有

¹⁷⁵ 雖||離【大】 大正藏に校注なし。

¹⁷⁶ 償(異体字か) ||擯【大】 大正藏に校注なし。

¹⁷⁷ 罰||罰【大】 大正藏に校注なし。

¹⁷⁸ 「後」の右に「彼」の字あり。後||彼【大】

- 20 如是為佛出家受持禁戒乃至為佛剃除鬚
- 21 髮著袈裟片不受禁戒受而毀犯无所積聚
- 22 如其事緣治其身罪鞭打之者我等不復護
- 23 持養育如是國王捨離彼國以捨離故令其
- 24 國土而有種種詔¹⁸⁷詐闢諍疫病飢饉¹⁸⁸兵俱

(第十四紙) T13p359c20~

- 1 起非時風雨亢旱毒熱傷害苗稼又若我等
- 2 捨離彼國當勤方便令其國土所有世尊聲
- 3 聞弟子悉向他國使其國土空无福田若有
- 4 世尊聲聞弟子乃至但著袈裟片者若有幸
- 5 官鞭打彼等其刹利王不遮護者我等亦當
- 6 出其國土復作是言我等今者一切相與隨
- 7 所堪能勤作種種供養世尊尔時諸天及與
- 8 諸龍乃至一切迦吒富單那等俱時發心因
- 9 緣力故即時於此四天下中所有諸山皆悉
- 10 變成七寶之山為欲供養世尊故耳所有樹
- 11 林枝葉花菓¹⁸⁹一切亦皆變成七寶於其花菓¹⁸⁹
- 12 復出種種勝妙供具及五音作樂而為供養
- 13 四天下中所有依地衆藥草苗一切亦皆變
- 14 成七寶而為供養此四天下所有地界一切
- 15 變成青瑠璃¹⁹⁰地而為供養彼諸天龍乃至迦
- 16 吒富單那四天下中上盡欲界一切所有各
- 17 隨力能而作供養有雨種種寶種種花種種
- 18 衣服種種纓絡¹⁹¹種種天妙花蓋幢幡而為供
- 19 養有持種種天妙幢幡寶蓋金縷真珠纓絡¹⁹²
- 20 摩尼寶器而為供養有以種種琴瑟箏篳篥
- 21 笛齊鼓鼗鼓雷鼓以為音樂供養世尊有以
- 22 種種歌樂音聲而為供養有雨種種音樂之
- 23 器而為供養復以種種莊嚴國土而為供養
- 24 諸四天下所依住者人非人等乃至一切大

¹⁸⁷ 「詔」の右に「詔」の字あり。

¹⁸⁸ 二刀【大】

¹⁸⁹ 菓【果】【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁹⁰ 菓【果】【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁹¹ 瑠(異体字か)【瑠】【大】 大正蔵に校注なし。

¹⁹² 纓絡【纓絡】【大】

¹⁹³ 纓絡【纓絡】【大】

(第115紙) T13p360a15~

- 1 小諸蟲皆悉見聞彼等一切苦受休息皆生
- 2 樂受隨有種種身觸覺知得樂充足及得希
- 3 奇未曾有心於三寶中深得敬信
- 4 余時世尊大悲憐愍一切衆生為成熟故彼
- 5 等一切音聲語言皆是賢聖之所加被如是
- 6 一切人非人等所有語言及從寶中所出音
- 7 聲枝葉花菓¹⁸⁷琴瑟箜篌簫笛齊¹⁸⁸鼓鈸鼓雷鼓
- 8 所出音聲一切皆是聖力所加彼等一切皆
- 9 得希奇未曾有聲建立所加所謂色色空受
- 10 受空想想空行行空識識空如是眼入眼入
- 11 空耳鼻舌身入耳鼻舌身入空意入意入空
- 12 如是色入色入空聲香味觸入聲香味觸入
- 13 空法入法入空如是眼界眼界空乃至意識
- 14 界意識界空如是知身離欲淨知一切法離
- 15 欲淨知一切法界離欲相知一切法如如如
- 16 是知者是人則為於空不動是人堪能¹⁸⁹狀¹⁹⁰濟
- 17 一切衆生想於一切行令得解脫於衆生想
- 18 色想受想行識想眼入想乃至意識界想是
- 19 人如是堪能安置¹⁹¹一切衆生於三乘无為界
- 20 行者云何能開示簡擇彼等諸法所謂脩內
- 21 空外空内外空空大空第一義空有為空
- 22 无為空畢竟空无始空散空性空自相空一
- 23 切法空不可得空无法空有法空无法有法
- 24 空復有法¹⁹²法相空无法相空自法自法

(第116紙) T13p360b10~

- 1 相空他法他法相空若能如是脩習簡擇此
- 2 諸法空彼人堪能乃至安置¹⁹³一切衆生於三
- 3 乘无為界彼等行者以何法門得知内空乃

¹⁸⁷ 菓||果【大】 大正藏に校注なし。

¹⁸⁸ 「齊」の右に「齊」の字あり。

¹⁸⁹ 「狀」の右に「拔」の字あり。狀||拔【大】

¹⁹⁰ 「置」の右に「置」と朱書きあり。

¹⁹¹ 「法」の右下に「有」と朱書きあり。

¹⁹² 「置」の右に「置」と朱書きあり。

- 4 至无法有法空所謂還以空解脫門能脩簡
- 5 擇内外等法何者名為内外法内法者所謂
- 6 眼耳鼻舌身意行者如實知眼眼空非積聚
- 7 不可壞不可取何以故此諸法性余乃至知
- 8 意意空非積聚不可壞不可取何以故此諸法
- 9 性余是名内空如是行者應如實知外法者
- 10 所謂色聲香味觸法行者如實知色色空乃
- 11 至法法空非積聚不可壞不可取何以故此諸
- 12 法性余是名外空如是行者應如實知何者
- 13 名為内外空内外法者謂内六入外六入行者
- 14 如實知内外入空非積聚不可壞不可取
- 15 何以故此諸法性余是名内外空如是行者應
- 16 如實知何者名為空空空者一切諸法空以
- 17 彼空故空非積聚不可壞不可取何以故此諸
- 18 法性余是名空空如是行者應如實知何者
- 19 名為大空東方空乃至四維空非積聚
- 20 不可壞不可取何以故此諸法性余是名大空
- 21 如是行者應如實知何者名為第一義空第
- 22 一義者所謂涅槃如是涅槃以涅槃故空非
- 23 積聚不可壞不可取何以故此諸法性余是名
- 24 第一義空如是行者應如實知何者名為有

(第117紙) T13p360c05~

- 1 為空有為法名欲界色界无色界欲界色界
- 2 无色界空非積聚不可壞不可取何以故此諸
- 3 法性余是名有為空如是行者應如實知何
- 4 者名為無為空无生无滅不住不異是名无
- 5 為無為以無為故空非積取不可壞不可取
- 6 何以故此諸法性余是名无為空如是行者應
- 7 如實知何者名為畢竟空畢竟名諸法至竟
- 8 不可得非積聚不可壞不可取何以故此諸法
- 9 性余是名畢竟空如是行者應如實知何者
- 10 名為无始空来去不可得非積聚不可壞不
- 11 可取何以故此諸法性余是名无始空如是行
- 12 者應如實知何者名為散空无所取捨非積

128 「取」の右に「聚」の字あり。取||聚【大】

13 聚不可壞不可取何以故諸法性余是名散
14 空如是行者應如實知何者名為性空一切
15 有為无為法性非聲聞作非緣覺作非如來
16 作此法性空非積聚不可壞不可取何以故
17 諸法性余是名性空如是行者應如實知何
18 者名為自相空惱壞是色相能受是受相取
19 相是想相造作是行相了知是識相如是等
20 有為无為一切法自相自相空非積聚不可
21 壞不可取何以故諸法性余是名自相空如
22 是行者應如實知何者名為一切法空一切
23 法者所謂色受想行識眼乃至意色乃至法
24 眼色因緣生識乃至意法因緣生識此有

(第118紙) T13p360c29~

1 為无為諸法是名一切法彼諸法空非積聚不
2 可壞不可取何以故諸法性余是名一切法
3 空如是行者應如實知何者名為不可得空
4 一切法不可得非積聚不可壞不可取何以
5 故諸法性余是名不可得空如是行者應如
6 實知何者名為无法空一切无物不可得非
7 積聚不可壞不可取何以故諸法性余是名
8 无法空如是行者應如實知何者名為有法
9 空於和合中无物非積聚不可壞不可取何
10 以故諸法性余是名有法空如是行者應如
11 實知何者名為无法有法空无物无物空有
12 物有物【8】空非積聚不可壞不可取何以故諸
13 法性余是名无法有法空如是行者應如實
14 知何者名為法法相空法名五陰五陰空非
15 積聚不可壞不可取何以故諸法性余是名
16 法法相空如是行者應如實知何者名為无
17 法无法相空无法名无為法是无為法空非
18 積聚不可壞不可取何以故諸法性余是名
19 无法无法相空如是行者應如實知何者名
20 為自法自法相空諸法自法空是空非智作
21 非見作非積聚不可壞不可取何以故諸法

188 物【8】來【大】 大正藏に校注なし。

22 性亦是名自法自法相空如是行者應如實
 23 知何者名為他法他法相空若佛出世若不
 24 出世法住法相法位法界如實際性相常住

(第1十九紙) T13p361a24~

1 无有變異過此諸法空非積聚不可壞不可
 2 取何以故諸法性亦是名他法他法相空如
 3 是行者應如實知知已能令衆生離衆生想
 4 離一切行想受想色想識想離眼想乃至意
 5 想離色想乃至法想然後安置¹⁹⁴一切衆生於
 6 三乘无為界若有行者於此諸法如實現前
 7 知得名善脩彼諸衆生昔於此法已脩習者
 8 如是第一甚深法聲入於耳根或有衆生不
 9 種善根如是法聲亦入於耳或有見佛專心
 10 瞻仰彼人一切无盡善根皆來現前乃至逮
 11 得不退轉地十力无畏成大法器或有衆生
 12 有无常聲入於耳根或有苦聲空聲无我聲
 13 三律儀聲四念處聲四正勤聲四如意足聲
 14 五根聲五力聲七覺分聲八道分聲實論聲
 15 因緣法聲梵住聲四攝聲无礙辯聲禪聲解
 16 脫聲无色定聲六波羅蜜聲巧方便聲三昧
 17 陀羅尼忍聲聲聞乘聲緣覺乘聲大乘聲不
 18 退轉地聲業¹⁹⁵盡聲煩惱¹⁹⁶盡聲衆生¹⁹⁷盡
 19 聲法¹⁹⁸盡聲有為國土功德莊嚴聲无為心
 20 清淨聲大慈聲大悲聲三不護聲四无畏聲
 21 十力聲十八不共法聲一生補處聲十地聲
 22 最後身聲降魔聲无上智聲轉法輪聲隨應
 23 度者現神變聲棄諸命行聲於諸衆生示現
 24 无上大涅槃聲如是諸聲各各差別入於耳

(第20紙) T13p361b20~

1 根是諸衆生乃至畜生餓鬼趣等如是无量

194 「置」の右に「置」の字あり。

195 鄭=障【大】 大正藏に校注なし。

196 鄭=障【大】 大正藏に校注なし。

197 鄭=障【大】 大正藏に校注なし。

198 鄭=聲【大】

- 2 百千法門入於耳根彼諸衆生得第一希有
- 3 歡²⁹⁸喜踊躍於三寶中極得信敬彼諸衆生煩
- 4 惱²⁹⁹業²⁹⁷鄣²⁹⁷衆生²⁹⁸法²⁹⁸鄣²⁹⁸於三分中二分已盡
- 5 彼諸衆生聞是聲已无量阿僧祇衆生昔有
- 6 惡心者彼等悉得柔³⁰⁰冥³⁰⁰之心憐愍心善業心
- 7 得觀後世可怖畏事得種具足天人善根以
- 8 彼諸聲令於无量阿僧祇衆生歸依三寶所
- 9 有受持禁戒淨者彼等有得須陀洹果乃至
- 10 有得阿羅漢果復有無量阿僧祇衆生於緣
- 11 覺乘種種善根復有無量阿僧祇衆生發阿
- 12 耨多羅三藐三菩提心即得住於不退轉地
- 13 復有無量阿僧祇衆生得无生法忍尔時世
- 14 尊欲重明此義而説偈言
- 15 大²⁹⁵味阿脩羅 指示羅睺²⁹⁸言²⁹⁸ 是我最²⁹⁵勝師 福慧莊嚴具
- 16 佛告於彼等 當息妬瞋怒 付囑是法眼 護持故當受
- 17 彼諸脩羅喜²⁹⁸ 敬答尊導師 我當護法眼 乃至法久住
- 18 我等説最勝 不隱法神呪 令彼一切龍 皆失憍慢力
- 19 尔時諸龍輩 各各皆瞋怒 欲以憍²⁹⁹慢力 共諸脩羅鬪
- 20 佛告諸龍王 及以脩羅主 汝等於長夜 各各常獷戾
- 21 若不除瞋怒 於諸樂非器 常為苦所觸 下劣臭穢身
- 22 身分支不具 恒²⁹⁹之²⁹⁹於資生 聞説此諸苦 皆以瞋為本
- 23 惡²⁹⁷對²⁹⁷諸枷鎖²⁹² 牢獄飢渴等 地獄鬼畜生 由瞋受此苦
- 24 一切應忍辱 能忍者則无 丈夫得最勝 富貴具諸欲

(第三十一紙) T13p361c25~

1 汝等三²⁹²朋衆 諸龍阿脩羅 各自脩忍辱 忍故无諸惡

199 「歡」の右に「歡」の字あり。
 200 鄣²⁹⁸ 鄣²⁹⁸【大】 大正蔵に校注なし。
 201 鄣²⁹⁸ 鄣²⁹⁸【大】 大正蔵に校注なし。
 202 鄣²⁹⁸ 鄣²⁹⁸【大】 大正蔵に校注なし。
 203 鄣²⁹⁸ 鄣²⁹⁸【大】 大正蔵に校注なし。
 204 冥²⁹⁹ 冥²⁹⁹【大】 大正蔵に校注なし。
 205 大²⁹⁹ 大²⁹⁹【大】 大正蔵に校注なし。
 206 言²⁹⁹ 言²⁹⁹【大】 大正蔵に校注なし。
 207 「最」の右に「最」の字あり。
 208 「喜」の右に「喜」の字あり。
 209 「憍」の右に「憍」の字あり。
 210 「之」の右に「乏」の字あり。之²⁹⁹【大】
 211 對²⁹⁷ 對²⁹⁷【大】 大正蔵に校注なし。
 212 鎖²⁹⁷ 鎖²⁹⁷【大】 大正蔵に校注なし。

- 2 大衆皆喜悅 一切咸讚歎 汝今聞是語 皆悉得於忍
 3 天龍阿脩羅 夜叉及諸鬼 一切皆得忍 慈心共相視
 4 人與畜生等 得忍皆和順 禽獸及小蟲 慈悲相憐愍
 5 大衆皆合掌 瞻仰導師言 我等迭相蔭 皆得慈心住
 6 又我諸大衆 於佛尊導師 所作諸罪業 若身口意犯
 7 於法衆僧所 一人邊有過 人中堅固士 唯願見容恕
 8 我於世尊法 一切所作惡 今悉至到懺²¹⁴ 願佛慈納受
 9 于時兩足尊 告彼大衆言 汝懺惡業盡 終无有苦報
 10 剃髮不受戒 被服袈裟片 而作導師想 於彼人中上
 11 惡王²¹⁵ 鄣²¹⁶ 法眼 貪癡打比丘 如出導師血 當墮阿鼻獄
 12 大衆作是言 我等護比丘 若有諸惡王 惱諸聲聞衆
 13 我等於諸事 皆捨於彼國 其土有沙門 令向於餘處
 14 毀壞彼諸國 飢²¹⁷ 饑兵疫起 沙門所詣國 我等亦詣彼
 15 悉令得勝樂 具足衣飲食 於彼熾法眼 供養人中上
 16 无餘四天下 悉變成七寶 復雨諸香²¹⁸ 花²¹⁹ 珍²²⁰ 寶及衣服
 17 歌舞²²¹ 妓樂等 供養於導師 衆生所見聞 皆得充足樂
 18 聖加令諸音 盡變作佛聲 說諸有為苦 无常空无我
 19 三世一切法 悉空无所有 集散二俱空 眼識二亦然
 20 乃至心法界 陰身等法空 如是知諸法 則能救衆生
 21 若知三界空 能解衆生縛 諸有十二支 一切皆性空
 22 若昔於此法 如是脩習者 彼等聞諸聲 悉皆得於忍
 23 知²²² 力无所畏 得住菩提道 薄福諸衆生 得聞有為聲

(第111紙) T13p362b13~

- 1 无量衆精勤 得入菩提行 檀戒忍精進 禪定及智慧
 2 佛土福莊嚴 精進故令淨 汝等當作佛 到彼諸法岸
 3 降魔及軍衆 而降正法雨 无量衆生界 能與正法眼
 4 汝等一切衆 速入安隱城 无量衆聞聲 得趣大菩提
 5 及得二乘道 有得人天樂 有得至於果 羅漢三摩提
 6 如是惡衆生 得於柔²²³ 契²²⁴ 意 怖畏諸惡業 安住慈善心

213 「川」の右に「川」の字あり。三二一【大】

214 「懺(異体字か)」の右に「懺」の字あり。

215 鄣=障【大】 大正蔵に校注なし。

216 「飢」の右に「飢」の字あり。

217 花=華【大】 大正蔵に校注なし。

218 珍=珍【大】 大正蔵に校注なし。

219 舞=舞【大】 大正蔵に校注なし。

220 知=智【大】 大正蔵に校注なし。

大集經²²¹ 卷第八²²³

- 7
- 8
- 9
- 10 皇后藤原氏光明子奉為
- 11 尊考贈正一位太政大臣府君尊
- 12 妣贈從一位橘氏太夫人敬寫一
- 13 切經論及律莊嚴既了伏願憑斯
- 14 勝曰奉資冥助永庇菩提之樹長
- 15 遊般若之律又願上奉 聖朝
- 16 恒延福壽下及寮采共盡忠節又
- 17 光明子自發誓言弘濟沉淪勤除
- 18 煩障妙窮諸法早契菩提乃至傳
- 19 燈無窮流布天下聞名持卷獲福消
- 20 灾一切迷方會歸覺路
- 21 天平十二年五月一日記
- 22 天平勝寶七歲十月十七日正八位下守少内記林連廣野正
- 23 大安寺沙門琳躰讀

(第三十三紙)

1

(後補軸付紙)

昭和九年十月修理

監督 帝室博物館總長杉 榮三郎 (花押)

主任 奈良帝室博物館長心得和田軍一 (花押)

²²¹ 栗Ⅱ軟【大】 大正藏に校注なし。

²²² 「經」の右に「月藏」の字あり。

²²³ 尾題部分に印記あり。